

全体の状況

○ 相談種類別受付件数の年次推移

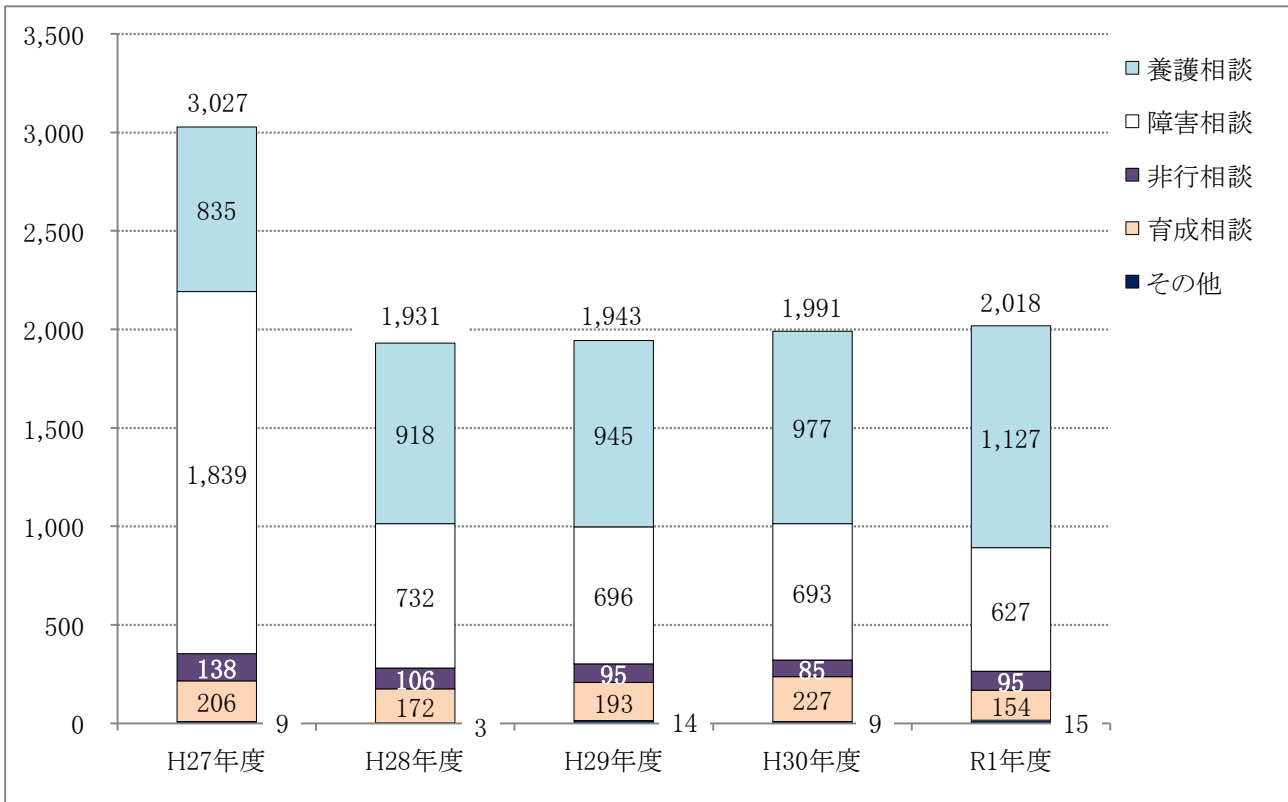
相談種別		H27	H28	H29	H30	R1	
高知県全体	養 護 相 談	835	918	945	977	1,127	
	うち虐待通告・相談件数	515	417	453	595	697	
	障害相談	肢 体 不 自 由	2	1	4	2	4
		視 聴 覚 障 害	0	0	0	0	0
		言 語 発 達 障 害 等	177	93	49	51	19
		重 症 心 身 障 害	31	28	33	30	8
		知 的 障 害	1,184	564	569	557	553
		発 達 障 害	445	46	41	53	43
	小 計	1,839	732	696	693	627	
	非行相談	ぐ 犯 行 為 等	53	52	42	46	49
		触 法 行 為 等	85	54	53	39	46
		小 計	138	106	95	85	95
	育成相談	性 格 行 動	185	156	165	206	142
		不 登 校	15	8	25	11	10
		適 性	2	5	0	7	1
		育 児 ・ し つ け	4	3	3	3	1
		小 計	206	172	193	227	154
そ の 他	9	3	14	9	15		
計	3,027	1,931	1,943	1,991	2,018		

※平成28年度から特別児童扶養手当に係る判定事務(依頼書の受付等)については障害相談として計上していない。

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

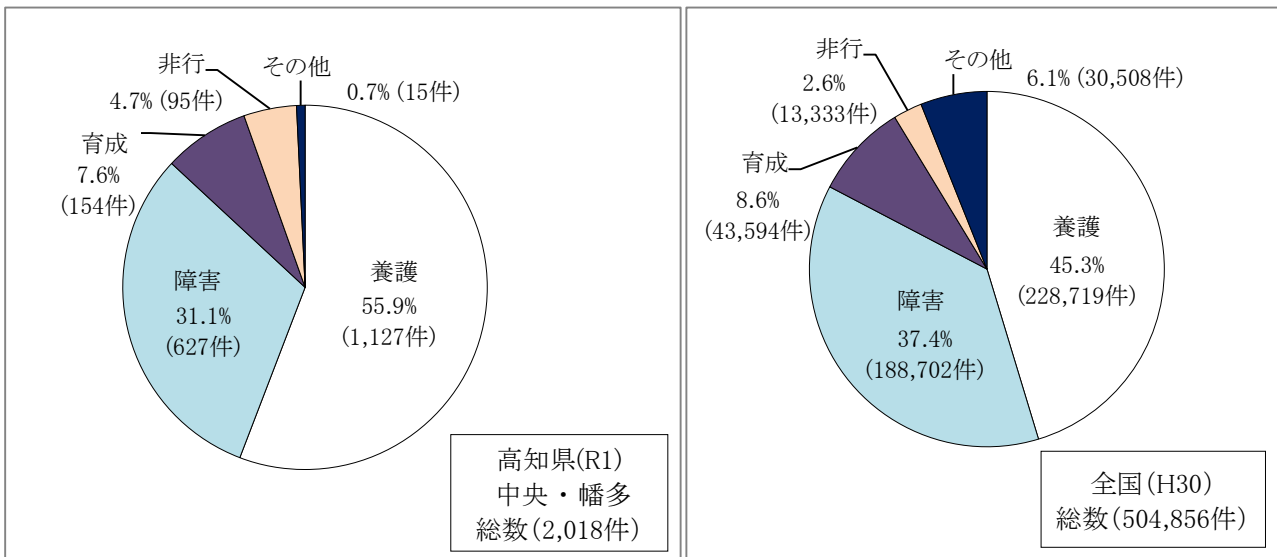
		相談種別	H27	H28	H29	H30	R1
中央児童相談所	養護相談	749	843	863	878	1,005	
	うち虐待通告・相談件数	465	398	404	544	614	
	障害相談	肢体不自由					4
		視聴覚障害					
		言語発達障害等					3
		重症心身障害					6
		知的障害				1	487
		発達障害					20
	小計	0	0	0	1	520	
	非行相談	ぐ犯行為等	46	48	39	40	45
		触法行為等	81	53	52	37	45
		小計	127	101	91	77	90
	育成相談	性格行動	74	45	46	58	58
		不登校性	4	6	11	2	6
		適児・しつけ	2	1			1
小計		80	52	60	60	66	
その他	1	1			6		
計	957	997	1,014	1,016	1,687		
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談		4	6	1		
	うち虐待通告・相談件数						
	障害相談	肢体不自由	2	1	2	2	
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	137	74	36	37	
		重症心身障害	30	26	32	28	
		知的障害	1,020	489	503	485	
		発達障害	369	19	15	10	
	小計	1,558	609	588	562	0	
	非行相談	ぐ犯行為等		1	1	1	
		触法行為等					
		小計	0	1	1	1	0
	育成相談	性格行動	56	40	60	75	
		不登校性			3	2	
		適児・しつけ	1	3		7	
小計		2	3		3		
その他	59	46	63	87	0		
計	1,617	660	658	651	0		
幡多児童相談所	養護相談	86	71	76	98	122	
	うち虐待通告・相談件数	50	19	49	51	83	
	障害相談	肢体不自由			2		
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	40	19	13	14	16
		重症心身障害	1	2	1	2	2
		知的障害	164	75	66	71	66
		発達障害	76	27	26	43	23
	小計	281	123	108	130	107	
	非行相談	ぐ犯行為等	7	3	2	5	4
		触法行為等	4	1	1	2	1
		小計	11	4	3	7	5
	育成相談	性格行動	55	71	59	73	84
		不登校性	11	2	11	7	4
		適児・しつけ	1	1			
小計		67	74	70	80	88	
その他	8	2	14	9	9		
計	453	274	271	324	331		

○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、平成30年度までは、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当していたため、同センター取扱い分を加えて比較している。

○相談種類別構成比の全国との比較



* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

高知県(件数)

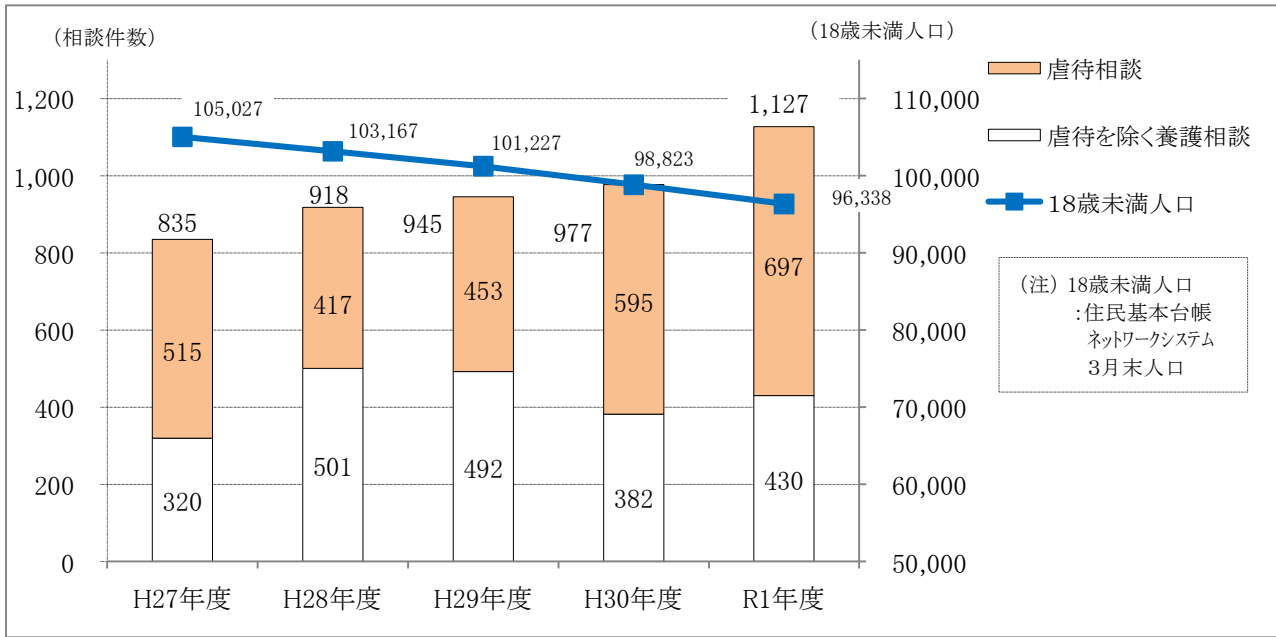
	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
養護	835	918	945	977	1,127
障害	1,839	732	696	693	627
非行	138	106	95	85	95
育成	206	172	193	227	154
その他	9	3	14	9	15
計	3,027	1,931	1,943	1,991	2,018

全国(件数)

	27年度	28年度	29年度	30年度
養護	162,119	184,314	195,786	228,719
障害	185,283	185,186	185,032	188,702
非行	15,737	14,398	14,110	13,333
育成	49,978	45,830	43,446	43,594
その他	26,083	27,744	28,506	30,508
計	439,200	457,472	466,880	504,856

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



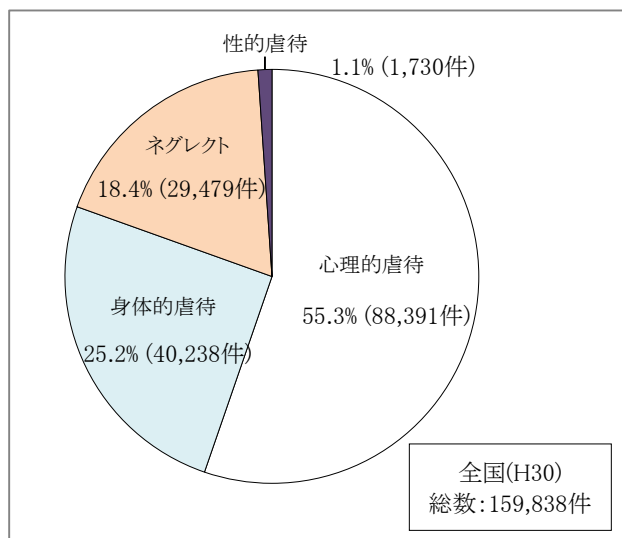
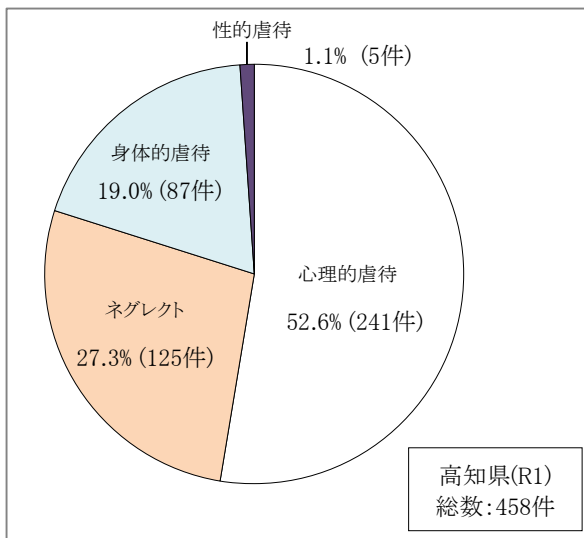
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(令和元年度)

(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
受付件数	515	417	453	595	697
対応件数	379	291	326	420	458

(2) 虐待の種類の構成割合



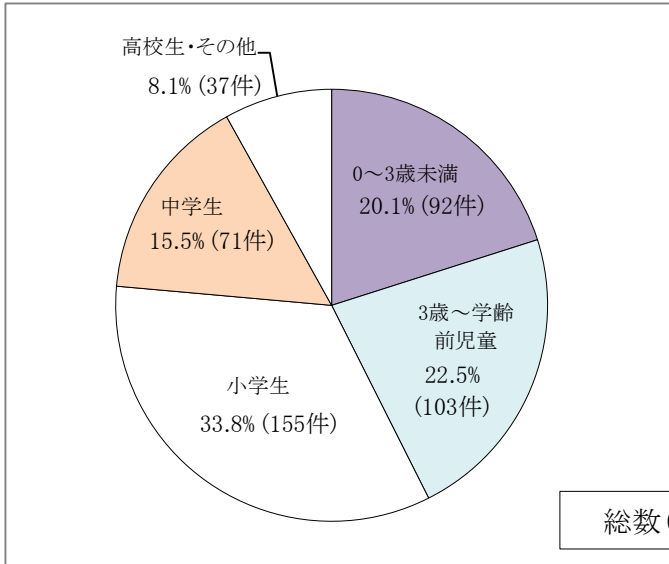
高知県(件数)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
心理的虐待	176	113	184	273	241
ネグレクト	84	99	82	78	125
身体的虐待	114	72	55	66	87
性的虐待	5	7	5	3	5
計	379	291	326	420	458

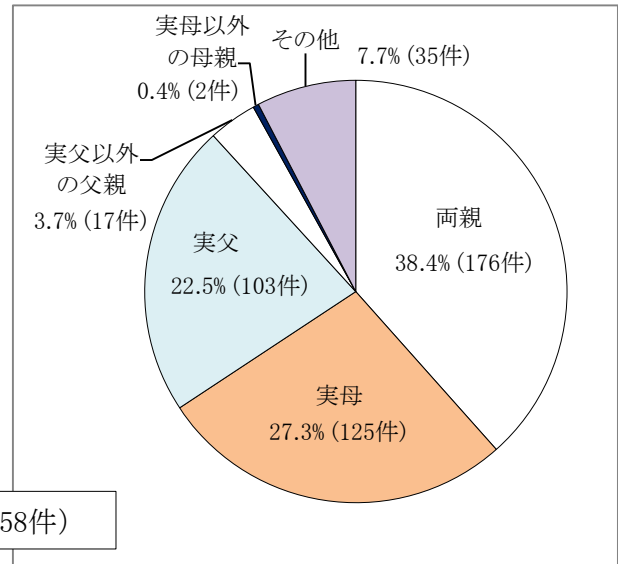
全国(件数)

	27年度	28年度	29年度	30年度
心理的虐待	48,700	63,186	72,197	88,391
ネグレクト	24,444	25,842	26,821	29,479
身体的虐待	28,621	31,925	33,223	40,238
性的虐待	1,521	1,622	1,537	1,730
計	103,286	122,575	133,778	159,838

(3) 被虐待児の年齢別構成割合



(4) 主たる虐待者



(注) 『その他』は、実母と内縁男性が19件、内縁男性が7件、内縁女性、実父と祖父母、不明が各2件、元養父、祖父母、祖母が各1件。

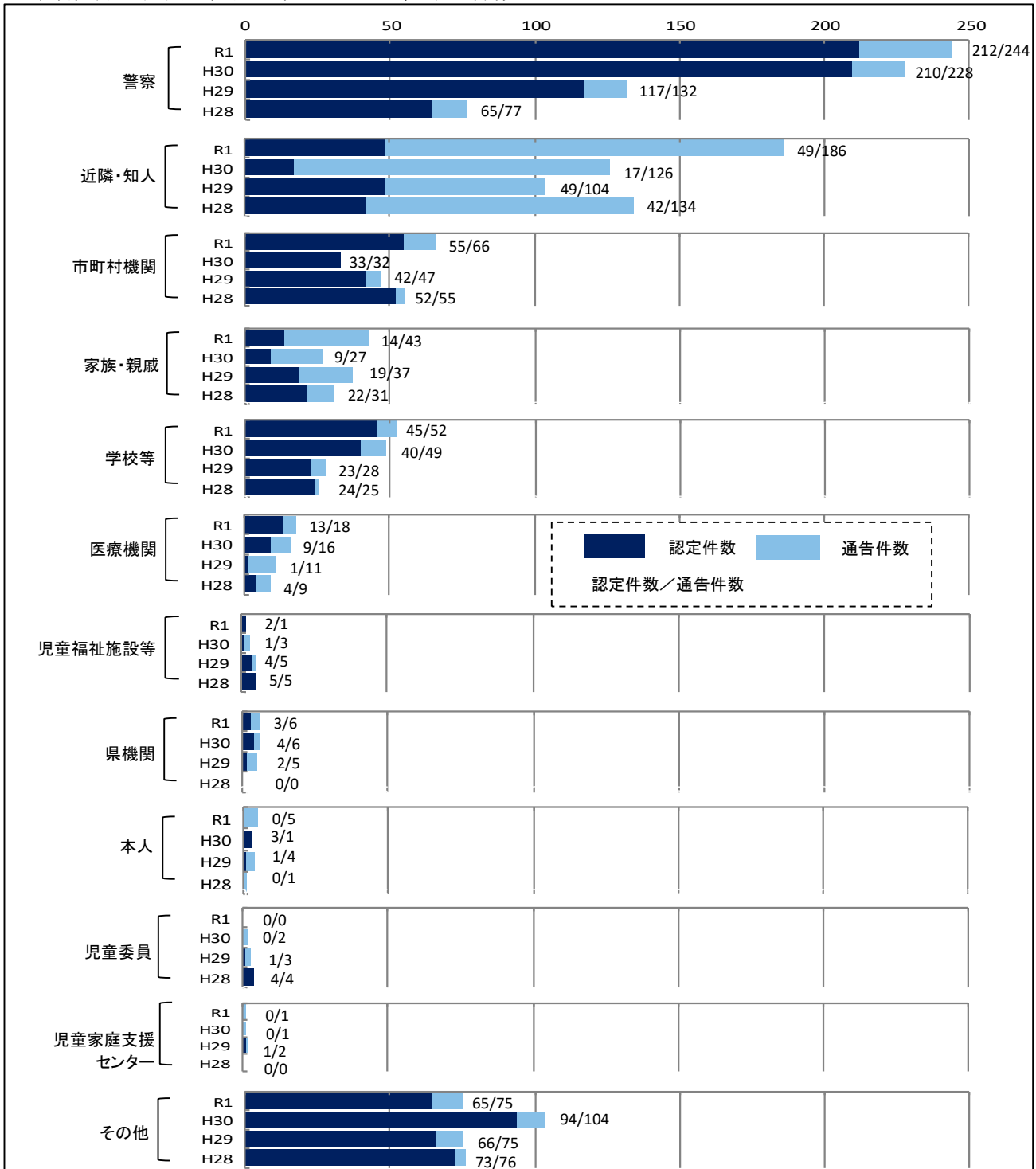
被虐待児の年齢別(件数)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
0～3歳未満	74	67	80	114	92
3歳～学龄前児童	94	59	71	79	103
小学生	137	107	113	132	155
中学生	49	38	38	63	71
高校生以上	25	20	24	32	37
計	379	291	326	420	458

主たる虐待者(件数)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
両親	71	99	122	135	176
実父	105	58	92	130	103
実母	149	108	88	99	125
実父以外の父親	23	6	6	16	17
実母以外の母親	3				2
その他	28	20	18	40	35
計	379	291	326	420	458

(5) 虐待通告及び認定・対応ケースの経路別件数



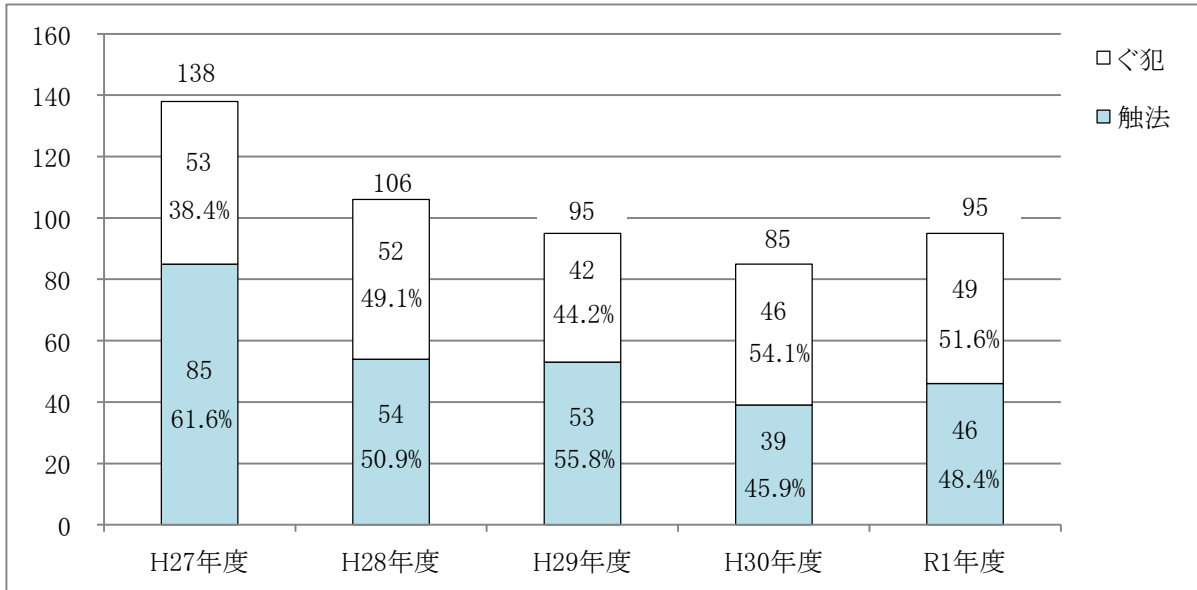
		警察等	近隣・知人	市町村機関	家族・親戚	学校等	医療機関	児童福祉施設等	県機関	本人	児童委員	児童家庭支援センター	その他	計
R1年度	認定	212	49	55	14	45	13	2	3	0	0	0	65	458
	通告	244	186	66	43	52	18	1	6	5	0	1	75	697
30年度	認定	210	17	33	9	40	9	1	4	3	0	0	94	420
	通告	228	126	32	27	49	16	3	6	1	2	1	104	595
29年度	認定	117	49	42	19	23	1	4	2	1	1	1	66	326
	通告	132	104	47	37	28	11	5	5	4	3	2	75	453
28年度	認定	65	42	52	22	24	4	5		0	4		73	291
	通告	77	134	55	31	25	9	5		1	4		76	417

※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった697件及び児童虐待として対応した458件について分析したものの。また、虐待として認定されたもののうち、20件が一時保護中のため次年度の件数として持ち越された。

※その他は他県児童相談所やきょうだいケースで虐待認定したものの。

3 非行相談

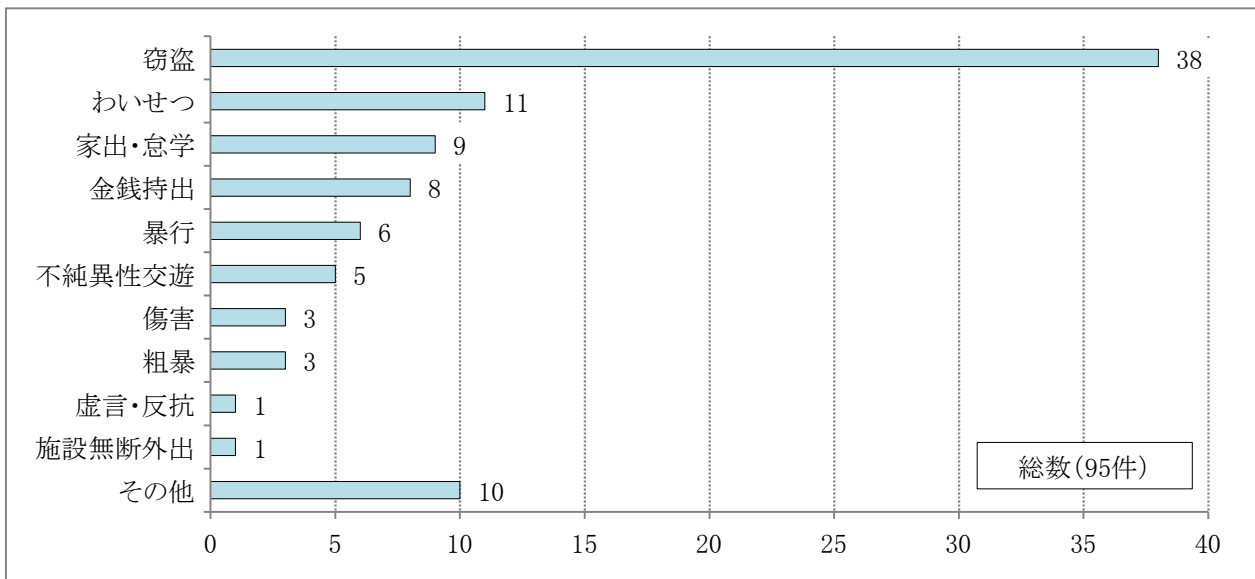
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(令和元年度)



(注) 『その他』の内容：器物損壊7件、威力業務妨害・建造物侵入・詐欺 各1件

	28年度	29年度	30年度	R1年度
窃盗	37	41	39	38
家出・怠学	20	16	9	9
金銭持出	9	10	4	8
わいせつ	8	8	10	11
暴行	13	5	4	6
不純異性交遊	3	4	4	5
粗暴	2	4	1	3
傷害	2	2	2	3
放火・ろう火	1	2	1	0
虚言・反抗	0	1	5	1
薬物乱用・飲酒・喫煙	1	0	1	0
施設無断外出	1	0	3	1
恐喝・強盗	0	0	1	0
その他	9	2	1	10
計	106	95	85	95

一時保護(委託)の状況

	H27年度			H28年度			H29年度			H30年度			R1年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待	83 (58)	79 (47)	162 (105)	113 (72)	119 (45)	232 (117)	99 (48)	61 (26)	160 (74)	87 (54)	63 (29)	150 (83)	80 (54)	69 (25)	149 (79)
その他	65 (16)	95 (8)	160 (24)	74 (21)	99 (5)	173 (26)	73 (13)	57 (2)	130 (15)	110 (26)	83 (10)	193 (36)	109 (28)	118 (6)	227 (34)
計	148 (74)	174 (55)	322 (129)	187 (93)	218 (50)	405 (143)	172 (61)	118 (28)	290 (89)	197 (80)	146 (39)	343 (119)	189 (82)	187 (31)	376 (113)

※年度内に一時保護を開始した件数

※()は、職権保護数で内数